



2016 -2017 年度

国際ロータリー会長：ジョンF. ジャーム「人類に奉仕するロータリー」

第2560地区ガバナー：田中 政春「基本を学び、地域と共に」

三條北ロータリークラブテーマ

「ロータリアンの深い絆と躍動感あるロータリークラブへ」

会 長：金子太一郎

幹 事：佐藤 秀一

SAA：羽賀 一真

例会日：火曜日12:30～13:30

例会場：三條ロイヤルホテル Tel.34-8111

事務局：三條市本町3-5-25三條ロイヤルホテル内

TEL:0256-35-7160 FAX:0256-35-7488



HP: <http://www.sajo-nrc.org>

AD: north@sanjo-nrc.org

本日の行事：卓話

- ◆本日の出席：66名中41名
- ◆先々週の出席率：66名中58名 87.88%
(前年同期 77.27%)

◆先週のメイクアップ：(敬称略)

3月22日三條RC 石川友意、中條耕二
山崎 勲

23日燕RC 石川勝行、土田百合子

25日ローターアクト地区大会

金子太一郎、佐藤秀一

27日市内4RC会長幹事会

渋谷義徳

28日次年度社会奉仕打合

西村 護、佐藤秀一

渋谷義徳、石黒隆夫

* 本日の配布書類等

- ・週報 No.1446
- ・4/11 移動例会案内 (出欠確認)

会長挨拶：金子太一郎会長



皆さんこんにちは。

いよいよ3月最後の例会となり、来週からは新年度の始まりです。

新たな気持ちになります。

本日は、大野さん、卓話よろしくお願いします。

先週の土曜日に、2560地区のローターアクトの第47回地区大会が、たまたまこの三條市のビップで開催され、私と佐藤幹事で出席してきました。開催場所は持ち回りなので、今回は三條市だったので、タイミング良かったです。今までローターアクトという組織自体、私は良く理解してないのですが、参加してきましたなんとなく理解できました。開始が13時からで、県内8ローターアクトクラブが集結しました。その他、北海道や東北、関東、北陸など全国からも友好的なアクトクラブが参加され総勢160名で盛大に行われました。ローターアクトクラブは、30歳までの若者たちのクラブで、三條ローターアクトクラブは、三條ロータリークラブがホストクラブになっ

て、面倒を見ているという感じですかね。三條ローターアクトクラブは、会員数が13名ですが、だいたいほかのクラブもそんな感じの人数で活動しています。この地区大会でそれぞれのクラブの活動内容の報告会がありましたが、さすが若者らしい発表会で、創意工夫を凝らし、パワーポイントやプロモーションビデオをうまくアレンジして、すごくパフォーマンスを感じました。私達ロータリークラブの年齢では、あのような発想は出ないと思いました。式典のあと最後にグループワークを行ったのですが、テーブルごとに分かれ、ロールプレイング的なゲームを行い、チーム力を発揮しながら競っていくゲームですが、アクトのメンバーと知恵を出し合いながらチーム一体となり、楽しいひと時を過ごしてきました。その後、6時から懇親会があり、その中でもアトラクションがあり、アクトのメンバーが考えた出し物が斬新的で感動いたしました。今回の大会が47回ということで、47秒間で何かを行うということですが、県内8つのローターアクトのメンバーで奇抜なことを披露して、そこでも競い合って順位を付けるということで、大変面白かったです。



私自身、三条ローターアクトから、4月に卓話をお願いされておりましたが、事前にメンバーの方とお会いできたので少しは、気が休まりました。これからもローターアクトのメンバーの皆さんを見守っていききたいと思います。

土曜日はそんな感じで終わりましたが、26日の日曜日には、妻と新潟の県民会館で吉本の新喜劇と漫才バラエティ公演というお笑いライブがあったので、見に行きました。当日は、隣の陸上競技場でも何かの大会があり、駐車場が既に満車で近辺を探したのですが満車ばかりで、少し離れた古町方面まで行って、やっと探し当てました。そのせいで開始10分前に、ようやく会場に入ることができました。前から7列目でちょうど私たちの席が2つ開いていたので、座ろうとしたら隣の人から、「ネコちゃん」と私の愛称で呼ぶ声がしたので、見たらなんと！元三条北ロータリークラブの高森さんご夫婦もいらっしゃり、大変奇遇でした。約2時間公演でしたが、前半は新喜劇で後半は5組の漫才でタップリと笑わせてもらいました。高森さんを御存じ方は、高森さんの豪快な笑い声が思い浮かぶと思いますが、うちの女房も「笑っているのは、高森さんだけじゃない」なんて言っていました。

そんな感じで土日を過ごしてきました。



幹事報告：佐藤秀一幹事

- ・R地域協働ネットワークセンターより クラブ連絡員確認のお願い
 - ・ロータリー囲碁同好会日本支部より
- 第18回ロータリー国際囲碁大会のご案内
期日 6月3日(土)・4日(日) 会場 台湾桃園市 蘿莎會館

- ・新保ガバナーエレクトより エレクトセミナー参加のお礼
 - ・2820 地区土浦南RC稲本会員より 協力をお願いの文書が届いております。
- クラブとしての対応は理事会にて決定後、詳細をお知らせします。



委員会報告：プログラム委員会

4月11日(火)移動例会を企画しました。会場は下田の諸橋轍次記念館です。道の駅農家レストラン悟空で昼食後、記念館に移動します。長時間になりますが、多数のご参加をお願いします。

*****ロータリー財団ボックス28日現在累計311,000円*****

渋谷 義徳君 結婚記念日のお祝いを頂きました。ありがとうございました。
羽賀 一真君 大野会員、卓話宜しく申し上げます。
石黒 隆夫君 卓話の大野さんに一票
本間建雄美君 財団BOXに協力
樋口 勤君 〃
丸山 勝君 早川財団委員長に協力
高橋 研一君 大野新吉会員、卓話とても楽しみにしております。財団委員として協力
早川 瀧雄君 ベテラン大野会員の卓話楽しみです。



*****米山奨学ボックス28日現在累計410,000円*****

中原 尚彦君 大野新吉会員、卓話楽しみにしております。
石丸 進君 いよいよゴルフシーズン到来です。今年も宜しくお願い致します。
大野 新吉君 前回例会時に高橋会員が孫さんの学校入学卒業etcで寄付されました。私忘れていました。内孫の中学進学、高校入学。米山奨学に協力して。
中條 耕二君 144年続いた三条小学校、とうとう閉校です。記念碑を建立する立場を与えられました。三条小の歴史を残そうと思っております。感謝です。
米山 忠俊君 福岡委員長欠席です。久しぶりに米山奨学BOXのテーブルに席が当たりました。大野さん卓話ありがとうございました。



*****ニコニコボックス28日現在累計640,000円*****

佐藤 啓策君 大野さん卓話ご苦労様ですね。喜んで聞かせて頂きます。
 中條 耕二君 大野チャーターメンバーの卓話に期待しております。
 大野 新吉君 急な卓話の指名。人の前で話すのが何よりキライな私。無事話ができますよう祈りつつ!!
 武田 恒夫君 大野さん、無茶振りの卓話、快く引き受け頂きありがとうございます。感謝!!
 金子太一郎君 大野さん卓話、楽しみにしています。宜しくお願いします。
 佐藤 秀一君 大野会員の卓話、楽しみにしています。
 笹原 壯玄君 //

今井 克義君 大野先輩の卓話、楽しみです。これが最後の卓話にならないよう、いつまでもお元気で

石川 一昭君 大野先輩の卓話に感謝して、“ナ・ミ・ア・ブ・ダーム・ツ”
 石川 勝行君 大野さん卓話楽しみにしていました。宜しくお願い申し上げます。
 森 宏君 大野さんの卓話楽しみです。
 佐藤 弘志君 大野さんに期待して。
 石川 友意君 この所、例会欠席が多くて済みません。大野さんの卓話に感謝して!!
 岡田 健君 先日靴を買いました。私の足のサイズは25です。短くて幅広、甲高という格好の悪い足です。72年間合う靴に逢えませんでしたが高新潟のモンベルで初めて出逢い感動でした。

落合 益夫君 BOXに協力
 高橋 彰雄君 協力致します。



本日の行事：卓話 大野新吉会員



武田プログラム委員長より、予定変更の為、急遽卓話の依頼がありました。ロータリーではNOと言えません。ハイ!!と返答してここに立ちましたが、久しぶりの卓話で緊張しています。金子会長より東京クラブへメイクアップされ

た話がありましたが、我が北クラブも20年位前、1997年(米山会長)9月に会員20数名でメイクアップしました。新幹線で帝国ホテルへ。例会では各テーブルに東京RCメンバーと同席、因みに私の隣は「森繁久弥」と名札が置かれていました。しかし当日は舞台と重なり欠席でした。もし出席されていたらお話ができただろうと思うと大変残念だったと思ったことを記憶しています。

私は9代目の会長をさせて頂き、その1年間、話の種は山程ありますが、それは又の機会にさせて頂きます。

私もあと2日で満75歳の後期高齢者の仲間入り、残すところ数える程の余命(健康寿命)です。私は県立三条実業高校商業科を昭和35年に卒業

業してから現在までの運命的な人との出会い、目に見えない糸に操られて現在ある「おゝ乃」の事などを、私の子供、孫に伝える良き機会と思い、年と共に萎縮した脳に光を当て思い出して纏めてみました。

戦前は五ノ町で約12坪で魚屋をしていた祖父が36代横綱羽黒山の後援会役員をしていました。八幡宮で勧進相撲があった時、当時の34代横綱男女ノ川登三が我が「かどや」の二階わずか20畳位の部屋に宿泊したと聞いています。終戦後、前側の四ノ町角屋敷40坪ほどの土地を求め、魚店・仕出し店をしていました。私は高校卒業後、料理の修業に新潟へ行きたかったのですが、祖母に“男の子と杉の木は新潟では育たない”と言われ、居島東別院側魚常支店で2年間、住込修業し37年4月に修業を終え実家に戻り、魚売り、仕出し屋の他に平屋の建物に二階を増築し、酒と料理の割烹のまねごとを始めました。

昭和38年1月、後にも先にも無いというほどの、予想外というか今の流行言葉の想定外の大雪(240cm)に見舞われ、翌39年6月には新潟地震を経験し、39年の10月に上須頃の農家から、妻勝子に嫁いでもらい、数年後店の改築増築し、妻、両親の助力で割烹店として売り上げも増し

て来ました。

中央～本時小路界限に店を持ちたいとの願望が日増しに大きくなっていった頃、知り合いの不動産屋から古城町の西別院（現在は鍛冶道場）前の大願寺様の脇角に売り家（土地）があると聞き、私は即乗り気でしたが、親が反対し断念しました。しかし思いは一層まして、翌年、まだこの土地があると話が再燃、宝塔院様の先代住職から占って頂き、親を説得するために母を連れて行きました。四ノ町から古城町に店を移転し開きたいと地図を持って行き見てもらいました。“方角は良いですよ!!～でももっと真東が良いと出ているがね～”「ご住職さん真東なんか今いいんです。古城町が良いか、否かです。」

“古城町、良い卦が出ていますよ～でももっと真東が良く出ているんだがね～”と重ねて言われました。“お母さん倅さんが頑張るとのこと協力してやりなさい”との占いのお陰で昭和49年10月「古城町かどや店」として竣工、高度成長期時代も良かったと思いますが、出店して3年位で手狭となり、お客様の注文を断る事が多くなり、この近くに家族の住まいの土地が欲しいと思っていた頃、今の横町、当時は寺浦という地番でした。300坪（一反）売り地があると経理士さんの友人の不動産屋から話があり、早速、経理士さんと場所の確認に行きました。不動産屋はこの辺りの一反という言い方で場所の特定はしませんでした。その数日後、農協の不動産部から同じ方角の土地300坪の話があり、現場に行くと数日前の土地と5～6反離れた場所でした。

価格は前の話は坪18万位、後の話は15万位、3万違いました。当然、後者を選び取得しました。その時はまだここにこの様な店を出そうとは思っていませんでした。

古城町店の近くに住まいを移して住居を客室にして少しでもお断りする事を減らしたいとの思いは続いていました。大願寺様の裏に60坪の売り屋があると不動産屋から話がありました。内心喜びました。思いが叶うと、でもそこは商売人です。金額の駆け引きがありますので少し考えさせてと言って帰られ、翌日「大野さん、この話少し待って下さい。隣の会社の方が欲しいとの話があったので1週間待ってくれ」とのこと。私は気が速いものでグラフ用紙に三階建ての図面を書いていました。一階部分はお客様の駐車場、2・3階は自宅などと夜遅く迄そんな夢を抱いて～。その1週間に又々目に見えない操り糸の運命的な話が舞い込みました。寺浦の土地の隣にもう一反買わないかとの話です。古

城町の話もあります。一日も早く決断せねば。経理士、親戚に相談、何をしても一反より二反の方が良いと決断しました。

こんな事になっているとは知らずに「古城町の土地は隣の方の話はまとまらなかったの、契約書持ってきたから」と来られました。「チョット待って!!私が寺浦に一反土地買ってあるのを知っているよね?この1週間待っている間にもう一反の話が出て、貴方だったらどっちを選ぶ?」と問いかけますと「そりゃ～一反より二反の方が何をやるにも良いね」「そうらろう、そういう事でこの話はゴメンネ」と丁寧にお断りしました。

当然、古城町の60坪で建物も三階建て、ざっと計算しても裏館の二反分の金額になります。この二反目を昭和56年に求め、新天地での営業を夢見て妻と両親（その頃は父が亡くなり母1人）と3人でパートさんの手伝いも得て古城町で人の三倍は稼いで来ました。

当然ゴルフなど知らないし、遊びと言えば弟が静岡の三島に住んでいる処へ高速道路が無いので国道を10～12時間かけて親を連れて行きました。仕事一辺倒の私でしたが初めて買った乗用車マツダのロータリーエンジンカペラです。仕事で仕出し用のライトバンばかりでしたが古城町の角屋の土地が買ってもらえず少しグレて?少しは遊ぼう、そんなチンケな気持ちで買ったカペラ。当時、新潟県で一番目の車の納車という記念にゴールドキーを頂き、これに乗って東京オリンピック道路として大宮から東京谷原間のバイパスを土地のアンチャン達の乗っているスカイライン2000GTと赤信号で止まり、青で一斉にスタート、音も無くカペラは悠々離し又赤信号停止、これを2～3回繰り返しているところを睨み付け、怖い形相になった顔を母が見て「急ぐなて、ゆっくり走れば～」と言っていました。そんな事くらいで本時小路で酒を飲むなんてとんでもない、そんな金は使えない。魚屋仲間では二次会も付き合えない、ケチな角屋で通っていました。人の悪口など気にせず働きに働き、41歳～42歳、本厄の間は建設に向けた話は一向に進展しませんでした。私の思いは変わりませんでした。42歳の後半、後厄の頃から話が加速、構想が設計そして形となり進行しました。

古城町の仕事もあり、建設の打ち合わせ、他の建物の見学 etc 飯を食べる時間もまゝならぬ日々の為65kgの体重が50kg代になる程で喜びながら過酷な日々を送っていました。

私の希望は平屋造り、お風呂に入ってチョイと

一杯名称も「結婚式場庭園風呂割烹おゝ乃」として、三条の書道家荻根沢小帆先生より書いて頂いておりました。

しかし、当時この建築計画に参加して頂いた旅館経営研究所の指導では三階建にしての結婚式場スタイルでなければ・・・とのことで従いました。玄関で下足を取るか？そのまゝ土足か？だいぶ悩みましたが結果としては今のスタイルとして正解でした。

工事が進むにつれて寸暇を惜しんで毎日、工事現場の進捗状況をカメラに収め数百枚の大量アルバムとなりましたが、後日の改修工事に役立ちました。現場への差し入れや監督さん以下スタッフの方々との親睦や私の思いを知って貰うために何度か飲み会をしました。

ついに61年10月竣工の運びとなり玄関前側駐車場から建物が一望できる位置に立って夕暮れ、建物内外に灯が入った時～暗闇の中、忽然と浮かび上がる「おゝ乃丸」を見たときの喜び感激、皆様方ご想像下さい。先祖の12坪から44坪それから90坪そして600坪。魚屋から結婚式場、三階建ての建物。喜びと同時にこの建物を経営、維持していかんばならないという薄ら恐ろしい気持ちちが重くのしかかって来ました。幸いにも私の姉と義理の兄が協力してくれる事になりお客様の接待は二人に任せ、私は裏方の厨房やマイクロバスの運転手をしていた頃、北RC入会の話が中條さん、梨本さんからあり、当社の吉田常務の勧めもありチャーターメンバーに加えて頂きました。この年の12月北RC認証状伝達式を中央公民館で開催、他のRCの方々の承認を得て国際ロータリーの仲間入りをしましたので、北クラブも当社も30年経過した事になります。建設中、本時小路界限ではおゝ乃の話が結構賑わっていたそうです。「あの様な道路の狭い中心から離れた所で1年も持たないだろう」との噂です。しかしそんな噂いちいち気にしてはおられません。その日その日をこなす事で精一杯。そのような中でひとつ問題が。この

地区は住居地域で芸妓、コンパニオン etc 酌婦が入れない所でした。結婚式では余り不自由は無かったのですが、竣工式や大きな会合になるとどうしても、この方々のサービスが必要となります。この許可を取得するのに、今は亡き司法書士山上先生、そして馬場一敏先生のお骨折りもあって3年後の昭和64年に苦難の末、風俗営業の許可を頂いた時は言葉に言い表せない喜び、嬉しさでした。

許可の無い間、北RC親睦委員がカツラを被り芸妓に扮装してサービスなどさせて頂くというご協力頂いた事が昨日の様に思い出されます。

この時の風俗関係の用途地域別の地図を求め何気なく四ノ町の44坪、古城町の90坪、横町の600坪の中心点を定規で当てましたら一線上に点と点と点が結ばれ、しかも真東に向かっていてではないですか。この時、宝塔院のご住職から「ここも良いがもっと真東が良く出ている」と言われた事をハタと思い出され、この地に來たのは“天からの啓示”天から授かった土地。努力さえすれば絶対噂の様にはならないと心強くして噂話を払拭する事ができました。

それから早30年、途中、隣の住人からおゝ乃さん発展するには私の家が邪魔になるでしょう等とんでもない事を言われ、築9年程の新しい建物付を譲り受け600坪+200坪での二期工事を進め、時折々改装しながら現在に至っております。妻勝子が嫁に来てくれた事がまず赤い糸で結ばれた前世からの因縁、そして土地を得るにも一度ならず三度四度の偶然。目に見えない糸で結ばれているが如くのこれ迄の人生、まだまだ他にも偶然で良い方に良い方にと引っ張られている事があります。

「果報は寝て待て」ではなく努力・努力の二文字と思います。これからも一生懸命頑張りますので何卒、より一層のご指導お引き立てを衷心よりお願い申し上げ大切な皆様の時間をお借りしました事、改めて感謝申し上げます。

4 月のお祝い

誕 生 日		ご夫人		結婚記念日	
会 員					
吉田 文彦	5	早川 町子	1	米山 忠俊・由貴江	1
金子太一郎	7	柄沢 佑子	1	落合 益夫・千鶴子	3
今井 克義	10	石川 純子	3	佐藤 文夫・君子	15
白倉 昌夫	17	福岡 則子	22	星野 義男・雪枝	20
米山 忠俊	22	高橋 淳子	30	武田 恒夫・水江	27



RI日本事務局
財団室
NEWS

2017年4月号

母子の健康月間

発行日
2017/3/30

お知らせ

【緒方貞子氏 ロータリー学友世界奉仕賞受賞】

元国連難民高等弁務官であり、元ロータリー国際親善奨学生緒方貞子氏が、2016-17年度ロータリー学友世界奉仕賞を受賞しました。

外交官の家族に生まれた緒方氏は、第二次世界大戦後、国際関係に関心を抱き、米国ワシントンD.C.のジョージタウン大学大学院へ留学。1951年、日本人として2人目のロータリー国際親善奨学生となりました。また、最優秀学友会賞は、ロータリー第1210地区学友会(英国)に授与されました。記事の続きは[こちら](#)



【会員基盤向上セミナー】

3月27・28日に「国際ロータリー第1・2・3ゾーン 会員基盤向上セミナー」が都内にて行われました。

本セミナーは、斎藤直美RI理事、水野功会員増強計画プロジェクトリーダーの主催で開催され、規定審議会、公共イメージ向上等について発表がありました。二日目にはロータリー財団地域コーディネーターが中心となり、ロータリー財団に焦点をあてて、寄付ゼロクラブや大口寄付、ポリオ撲滅のためにできること、奉仕プロジェクトなどについて発表がありました。また、国際基督教大学に通うロータリー平和フェローや、現在NGOで働いている学友も登壇し、現在の研究内容や活動している現場の様子などが伝えられ、熱意のある興味深い発表となりました。学友からロータリアンになったことが報告されると、会場は拍手に包まれました。



RIレポート

3月:\$1=¥116

2月:\$1=¥116

寄付振込先:

三井住友銀行 赤羽支店(226)

普通預金 3978101

名義:公益財団法人ロータリー日本財団

明細書送付先: kifu@rotary.org

寄付送金明細書

送金明細書記入方法・寄付分類と認証

寄付者の認証

寄付状況

2017年2月末現在

年次基金

日本 \$ 10,010,263

世界 \$ 77,584,545

恒久基金

日本 \$ 1,451,821

世界 \$ 16,572,055

寄付総額 世界上位3ヶ国

2017年3月28日現在

アメリカ \$ 122,388,700

韓国 \$ 14,086,898

日本 \$ 13,644,021

日本の状況

冠名基金数 143

※地区、クラブが設立した冠名基金含む

PHS会員数 674

目標(世界) 2016-17年度

全米の総額

ロータリー平和センター



ロータリー財団100周年記念＜平和の為の晩餐会＞

ロータリー平和センター大口寄付推進計画委員 金杉 誠

3月28日(火)ホテルオークラのケンジントンテラスにて、ロータリー平和センターを支援するための晩餐会が、北清治ロータリー財団管理委員主催で開催されました。当日は田中作次元RI会長をはじめとした、日本のシニアリーダーの方々を中心に、平和センターに対して1万ドル以上の寄付を表明して頂いた方々31名が集い、バイオリニスト磯絵里子様の優雅な演奏と、オークラの食事を楽しみ、ロータリー談義に花を咲かせました。

この晩餐会は、アメリカで盛んに行われている「ミリオンダラーディナー」と称されている寄付集めの活動を、ロータリー財団100周年記念として、日本でもやってみようということで企画されたものです。何分にも初めてのことで、何人賛同してくれるだろうか?いくらお金が集まるだろうか?そもそも寄付文化が根付いていない日本には向いていないのでは、と大変心配をしましたが、31名の出席者と、欠席するけれども寄付はするという方々を含めるとなんと65万ドルもの大口寄付の表明がありました。ご寄付に賛同いただいた皆様、本当に大きなご寄付を下され、誠にありがとうございました。日本のロータリアンの心意気が強く感じられたと共に、この様な活動を、次年度以降もどのように継続して広めていくかということが課題だと思いました。

引き続きロータリー平和センターへのご支援をお願いいたします。今回ご参加いただけなかった方や、さらなるご寄付、冠名基金の設立については日本事務局までお知らせください。

